

バンコク・ドゥシット・メディカル・サービスズ(BDMSn) タイの国策「医療ツーリズム」を支える貴重な観光資源。 中国とタイの永久相互ビザ協定発効も追い風へ タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2024/12期1Q (10-12月) は、総営業収益が前年同期比10.8%増、純利益が同17.5%増の増収増益。外国人観光客増加に伴い外国人患者が増加。
- 中国人が昨年9月からタイ入国時ビザ取得が免除される中で中国とタイ間の永久相互ビザ協定が3月1日発効。1Q中国は前年同期比45%増収。
- JCI認証や外国語を話せるカスタマー・サービス・スタッフ充実など、同社傘下の病院自体が国策「医療ツーリズム」を支える貴重な資源。

What is the news?

5/14発表の2024/12期1Q (1-3月) は、総営業収益が前年同期比10.8%増の269.30億THB、EBITDAが同13.2%増の67.78億THB、純利益が同17.5%増の40.74億THB。外国人患者のタイ国内への来訪が進んだほかタイ国内の患者も増加した。外国人観光客増加に伴って観光地として有名なチェンマイやプーケット、パタヤの傘下病院が伸びたほか昨年開業のバンコク・ラヨンがんホスピタル、およびバンコク・ホスピタル・プラクティスも貢献した。前四半期では総営業収益が0.8%増、EBITDAが1.9%増、純利益が3.1%増だった。

1Qの事業別営業収益は以下の通り。①病院事業は前年同期比10.6%増の255.26億THB。収益構成比30%の外国人患者からの営業収益が同12%増。その内、中国が同45%増、フランスが同29%増、米国が同19%増だった。タイ人患者（収益構成比70%）からの営業収益は同10%増だった。②商品販売事業の営業収益が同17.0%増の10.83億THB。③その他収益が同5.9%増の3.21億THBだった。

How do we view this?

2024年から3年間の会社計画は、年平均増収率が10%、病床数の9000床超、稼働率が75%、EBITDAマージンが25%である。特に地方における高齢化と国民1人当たり所得増加に伴ってヘルスケアビジネスが継続的に成長するとみられるほか、タイの医療ツーリズムが世界最高水準であることが同社の成長のベースになる。その上で同社は、①予防ケアへの注力、②23年末14拠点に及ぶ「センター・オブ・エクセレンス」と呼ばれる最先端医療施設における包括的治療、③デジタル技術を活用した「スマート・ヘルスケア」を経営戦略の3本柱として重要視している。

中国とタイ両国の永久相互ビザ協定が3月1日に発効。中国人は昨年9月からタイ入国時ビザ取得が免除され、年初来2ヵ月で100万人以上の中国人がタイに入国。タイ旅行代理店協会 (ATTA) は今後も訪タイ中国人は1日当たり2万人程度と見込んでいる。外国患者の地域別収益で中国の伸びが加速が期待される。また、中東は1Qが前年同期比2%増にとどまっていたものの、今年4月の前年同月比は25%増と収益貢献が見込まれよう。

同社傘下の病院は、国際医療機能評価機関 (JCI) 認証や外国語を話せるカスタマー・サービス・スタッフなどが充実。貴重な観光資源としてタイの国家戦略でもある「医療ツーリズム」を引き続き牽引しよう。

業績推移

※参考レート 1THB=4.26円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
営業収益(百万THB)	74,451	91,933	100,852	109,188	117,609
当期利益(百万THB)	7,936	12,606	14,375	15,682	17,023
EPS(THB)	0.50	0.79	0.90	0.99	1.07
PER (倍)	54.00	34.18	30.00	27.27	25.23
BPS(THB)	5.28	5.66	6.01	6.24	6.59
PBR (倍)	5.11	4.77	4.49	4.33	4.10
配当(THB)	0.45	0.60	0.70	0.70	0.76
配当利回り (%)	1.67	2.22	2.59	2.59	2.81

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.70	(予想はBloomberg)
終値(THB)	27.00	2024/5/31

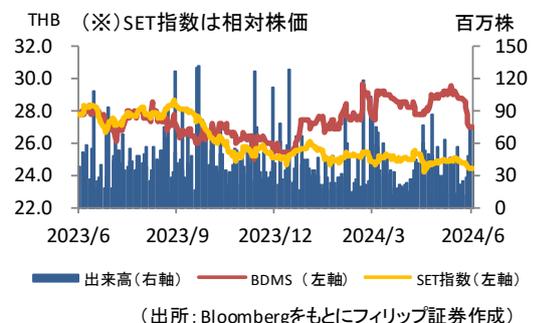
会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイ最大の民間病院運営会社。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で48院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院(バンコク心臓病院)や民間がん病院(ワタノス病院)、小児病院(サミティベート小児病院)を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、BNH病院、パヤータイ病院、パオロ病院、ロイヤル病院の6つの主要な病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全50病院のうち26以上の病院および臨床プログラムが、「ジョイント・コミッション・インターナショナル (JCI)」の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。

企業データ(2024/6/4)

ベータ値	0.78
時価総額(百万THB)	437,030
企業価値=EV(百万THB)	446,115
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	1,036.5



主要株主 (2024/6)

株主名	(%)
1.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	13.18
2.Prasarttong-Osoth Prasert	10.95
3.Prasarttong-Osoth Poramaporn	5.78

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。